

平成28年 年頭所感



東京都正札シール印刷協同組合
理事長 田中 浩一

あけましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、本組合に格別なるご支援、ご協力を賜りました事に厚く御礼申し上げます。

さて、我々シール・ラベル業界ですが、設備投資の低迷や、組合員の減少という厳しい状況が続いております。

「シール・ラベルは、儲かるんだ」とか、「シール・ラベルの製造は、面白いのだ」といったポジティブなイメージを創り出し、広めていく必要があるのではないかと考えております。

材料の種類も豊富ですし、加工技術は多種ある中でも次から次へと、新しいものが生まれております。

印刷と加工をインラインで行う事は、シール・ラベル業界が最も優れていると自負しております。

現在、コスト競争は熾烈を極めておりますが、お客様に喜んで使っていただけの製品づくりを念頭において活動していくことで、新たな路が開けてくる筈です。

本組合としても、技術の勉強会や経営に関するセミナーを行い、組合員・会友のレベル向上に努めております。

もちろん、組合員や会友だけの努力では足りない部分もあろうかと思えます。やはり、同じ業界に居られる協賛会の皆様のご指導、ご協力が不可欠です。

平成28年は申年です。猿は群れをつくり皆で上手に生活を営んでおります。

我々シール・ラベル業界人も、ひとつの群れとして、互いに協力し合い仲良く業界全体を盛り上げていこうではありませんか。

本年は、全日本シール印刷協同組合連合会の年次大会が九州協組の担当で、はじめて沖縄で開かれます。東京からは、だいぶ距離がありますし米軍基地の問題などもあります。暖かな沖縄で全国の仲間と大いに楽しみましょう。

皆様方には、本組合の事業への参加、ご指導ならびにご鞭撻を昨年以上に賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様方におきまして更なる御繁栄とご健勝を謳歌できます年となります事を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。